

第 17 回日本褥瘡学会北海道地方会学術集会のお知らせ

第 17 回日本褥瘡学会北海道地方会学術集会を下記の要領で開催致します。
多数の皆様のご参加をお待ち致しております。

日時：2018 年 2 月 10 日（土） 12 時 00 分～18 時 00 分

場所：札幌コンベンションセンター 中ホール

（札幌市白石区東札幌 6 条 1 丁目 1-1）

会長 澤口裕二（士別市立病院 療養診療科医師 診療部長）

参加希望の方は参加申込書にて事前にお申込下さい。

【一般演題】

テーマ「悪夢のような一例」

あなたは悪くないのに、他の人の無知、無理解、金儲け主義、権威主義その他のために悪化したり回復しなかったりした症例を発表してください。「いつ、どこで、だれが、なにを、どのようにして悪化したか、改善しなかったか」を報告してください。他の会員からの反応を聞き、職場に持って帰ってスタッフに報告してください。そうすれば、これからのあなたの回りのケア全体が改善されるかもしれません。改善されなくても、あなたの鬱憤は晴れて幸せになれるかもしれません。

上記テーマ以外の一般演題も大歓迎です。

【会長講演】

「進化発生ロボット介助リハビリテーション学のすすめ」

進化発生学からはじめてロボット工学を使って本来の人の動きを示します。リハビリテーションと介助の質を高め、褥瘡の根本的解決につながります。

ヒトはアメーバのような単細胞生物から進化しました。祖先は、ヒレのないサカナであるヤツメウナギ、腹を擦って移動するサンショウウオのような動物でした。やがて哺乳類となり、四足歩行から直立して二足歩行しています。わたしたちの DNA の基礎は祖先の DNA であり体の構造の基礎も祖先の構造です。その基礎に矛盾する動きが体を壊します。進化学でヒトの辿ってきた道をさかのぼり、その構造をロボットで再現し動きを観察すれば、現代のわたしたちの自然な動きを理解できます。単細胞生物の動きがヒトの動きの基本であること、筋肉の収縮で進むのではなく、弛緩で進むこと。脊椎動物の移動の基本は脊柱の回旋と屈伸であること、四肢は空間の中で脊柱の動きを増幅する支持装置であることな



ど、動けない人の支援に役立つ自然な動きのヒントを提供します。

【ご注意】

今回、ランチョンセミナーはありません。

昼食は持参するか、外部で済ませてからおいでください。昼食を持参すると、12時から発表開始までの間は発表会場で食べる事が許可されています。

昼食後、一般演題開始まで協賛企業の展示をご覧ください。

一般演題募集

受付期間：2017年10月2日（月）～2017年12月25日（月）

◎演題抄録募集要領

抄録：演題名 30 字、本文 400 字以内です。発表者の所属と氏名をつけてください。演者○印とふりがなをつけてください。

◎抄録はEメール（添付ファイル）又はCDのいずれかで下記アドレス・住所までお送り下さい。Word形式、フォントはMS明朝、10.5ポイント、日本語は全角、句点(。)、読点(、)、英数文字は半角、コンマ(,)、ピリオド(.)としてください。

詳細は地方会ホームページを御覧下さい (<http://www.jspu-hokkaido.org/>)

◎発表形式：口演(パワーポイント使用) 発表7分、質疑応答 4分。

【キネステティック関係の発表をする方へお願い】

キネステティックの用語はその体験セミナーで学習します。一般参加者の大半はその用語の意味を学習していません。従いまして、キネステティック関係の発表をする方は、その用語を噛み砕いてキネステティックを学んでいない参加者でも理解できるように発表してください。

【一般演題 問い合わせ・申込先】

第 17 回日本褥瘡学会北海道地方会学術集会事務局代行

担当 木下、横井、麦倉（株） エムコム

TEL：011-728-6188 FAX：011-728-6151

E-mail：mikio_kinoshita@ni.wism-mutoh.co.jp